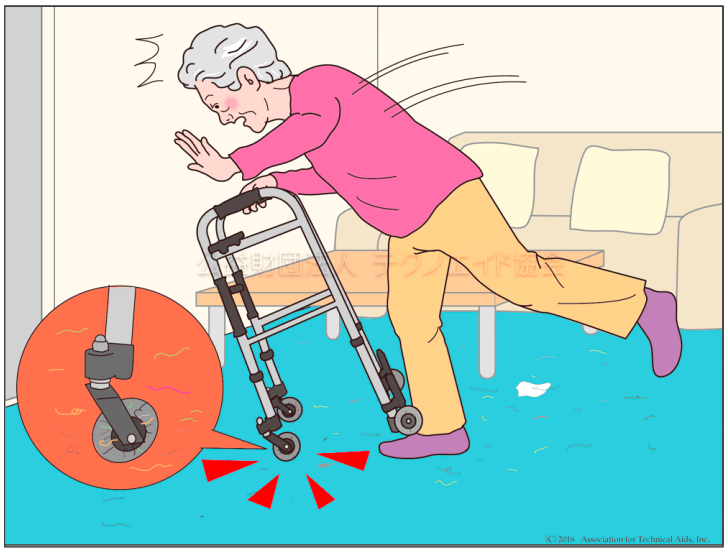
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：311
キャスタにゴミが絡まり、転倒しそうになる

場面の説明

歩行器のキャスタの軸の部分にゴミ等が絡まって動きが悪くなり、歩こうとしたが急制動がかかり、前方へバランスを崩した



利用シーン	移動
主な利用場所	リビング・居間
介護保険の種目	歩行器
分類コード (CCTA95)	120606 (歩行車)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

人の長い髪や動物の毛、糸くず、ホコリなどが散乱している自宅等においては、長期間の歩行器の使用で、キャスタ軸の部分に髪の毛やほこり等が絡まってきます。その結果、キャスタの回転が鈍ったり、急制動を起こしてバランスを崩すようになることがあります。定期的にキャスタの軸のゴミ等をとり、左右の回転を確認しましょう。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：キャスタのメンテナンスができていなかった
人：本人が虚弱な為に掃除ができなかった
環境：人の長い髪や動物の毛、糸くず、ホコリなどが散乱していた
管理：定期的なメンテナンスのルールを決めていなかった

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.